76 B 20 76 B 201

4公告 昭和47年(1972)1月 8日

発明の数 3

(全3頁)

1

タドライバー

②特 顧 昭43-14040

20世 顧 昭43(1968)3月6日

砂発 明 者 出願人に同じ

切出 願 人 戸津勝行

東京都墨田区押上3の4の7

代理 人 弁理士 英田治雄 外1名

## 図面の簡単な説明

図面は本発明の実施例を示すものであつて、第 1図はドライバーシャフト先端部の側断面図、第 2図はその下面図、第3図a,b乃至第8図a, bは刃先片の各種実施例であつて、各々その正面 図及び側断面図を示し、第9図はドライバーシャ 15 フト先端部の正面擬断面図、第10図はドライバーシャント先端部の下面図である。

## 発明の詳細な説明

本発明はねじ頭のスリワリに係合する刃先片を 替刃としてドライバーシャフトの先端部に着脱自 20 在に嵌合し得るようにしたドライバーに関するも のである。

従来ねじドライバーにおいて、その刃先部はシャフトと一体的に構成されている為刃先部が磨耗破損して使用不能となつたときは、ドライバー自 25 体の機能が失われて使用不能となり廃棄されるか、または特別の注意の下に刃先部を研磨再生して使用していたが、これは不経済であるばかりでなく取扱いが不便である。

本発明は前述の欠点を改良せんとするものであ 30 つて、ドライバーシャフトの先端中央部に刃片挟持溝を穿設し、該刃片挟持溝の一側面中央部に副溝を設け、これにねじの回動に耐えうる鋼材からなり、中央部に保止用弾性舌片を設けたほぼ矩形の刃片を着脱自在に嵌挿し得るように構成するこ 35 とを特徴とするものである。刃片はその中央部に設けられた舌片の弾性作用により刃片挟持溝の一 おいて外方へ働く弾磁力を受けて刃片挟持溝の一

側壁に圧接せられ、さらに舌片が副溝内で弾撥力を保持しつつ固定挟持される結果、刃片のドライバーシャフト本体からの自然脱落は防止される。また舌片が副溝内に固定されているから刃片がドライバーシャフトの刃片挟持溝内で左右に横滑りを起すこともない。従つて本発明によれば刃先部が磨耗破損した場合、直ちにかつ容易に替刃が可能であるばかりでなく、使用するねじに適した刃先を任意に採用することができる。さらに刃片の一側が磨耗破損した場合、反対側を刃片として利用することもできるし、また相対する刃片の長さ

次に本発明に係るドライバーを若干の実施例につき同一部分を同一の参照符号を附した図面によって以下説明する。

の寸法や厚さを変えておけば一本のドライバーを

異つたスリワリを有する数種のねじのねじ込み操

作に利用することができる。

## 実施例 1

第1図においてドラ イバーシャフト1の先端部 k シヤフトの中心軸を横切つて軸の長手方向に等 幅の刃片挾持溝2を穿設し、その一側面の中央部 に後に述べる刃片の突出舌片を揮着し得るように した副溝3を形成する。刃片としては、第3図乃 至第8図に例示する各種のものが提案される。即 ち、第3図において矩形の弾性鋼鈑からなる刃片 の中央部を舌状に打抜き舌端を若干起き上らせて突 出舌片4を形成する。この刃片を持片狹持溝2内に押 し込む際、前配突出舌片4が副溝3の壁部を圧し、 刃片が刃片挟持溝2から脱落するのを防止する。 また舌片4の両側縁が副溝3の両壁に擁持される ので、刃片の左右に対する滑動が防止される。ま た刃片の後端部6が挟持溝2の底面に突当つて停 止した状態で前端部5がねじのスリワリに嵌合す るに足る長さだけドライバーシャフト先端部の外 個K突出する。この刃片は前端縁も後端縁も同型 であるから、何れの側をもねじの回動に使用でき る。尙前端部5を挟持溝2内に挿入するときは舌 片の突端が副溝3口に突当るが、予めペンチ等の

Best Available Copy

工具で舌片突端を押し込んでおけば刃片の挿入を 妨げることがない。第4図は、第3図に示す刃片 の後端部6を前端部5よりも薄く形成する為両面 を若干切削して刃先7となしたもので、ねじの大 た刃片である。第5図は刃片11をドライバーシ ヤフト1の刃片挾持溝2内にしつかりと保持する ために、該刃片11にパネ鋼の如き弾性材でドラ イパーシャフト1の副溝3に挿着可能な幅を有す を刃片11本体の袋端縁12に溶着することによ り、刃片11の突出片として形成したもので、前 記第3図乃室第4図のものと同様の効果が得られ る。この場合刃片11と刃片係止用の突出片10 とは別個に製作されるものであるため、突出片 10はパネ鋼の如き弾性鋼材で作成し、刃片11 は該突出片と쯈着可能な硬質金属材料が任意に選 択できるという利点がある。第6図において刃片 の一端 9 中央部に 2 条の切込みを設け、その中央 長さに切断して、突出片 8 となしたものである。 第7図に説明する刃片は突出片13の突出方向と は反対側の刃片中央部に刃片 1 1 の下端級まで延 伸し、その先端が弾力的に離反するように溶着し たものである。この場合、ドライバーシャフト1 25 に挿着せしめる係止片としてではなく、ねじの回 動に際して刃片をねじ頭のスリワリに嵌合させる に際し、ねじ頭のスリワリ内に何時にこれを没入 せしめその反撥力を利用して圧接保持し、ねじを 所望の位置に運ぶことを可能としたものである。 弾性保持ピン15としては、パネ鋼の如き弾性鋼 材の使用が好適であり、上端緑15aは、刃片本 体に容着され、中央部 1 5 b を若干山形に撓曲し 先端縁15cを 若干外方に突出するように捞曲し 刃部14及び弾性保持ピンの先端縁15cを同時 に嵌入するに際し弾性保持ピン15は伸直される 結果ねじ頭のスリワリ内において刃部14と弾性 保持ピン15の弾撥力が互に外方に働き、ねじ頭 のスリワリの内壁を圧接して、ねじを確実に保持 40 心軸を横切つて軸の長手方向に等幅の刃片挾持溝 することができるものである。 なお保持ピンの小 形撓曲部15bを収納する建みもしくは帯を前記 副溝の反対側壁に設けることが望ましい。 第8図 は、刃片18とこれをドライバーシャフト1本体

別個に構成したもので、更に該突出片 16をねじ 頭のスリワリ内に嵌挿することによりねじを確実 に保持できるようにしたものである。 図示のよう に突出片 1 6はその中央部 1 6 a で刃片の中央部 小によつて異なるスリワリ幅に適合するようにし 5 に溶着され、上下端部を対称として山形の撓曲 166,166を与える。その各先端部16c, 16c′は幅挾として前記第7図に示す弾性保持ピ ンと同様の効果を有するものとして構成されたも のである。この為、刃片 8 の上下両端線の中央部 る係止片10なその先端を若干撓曲せしめ反対側 10 を若干切欠17,17する。しかしてこの場合刃 片は上下両端部が対称的に構成してあるから、両 刃の刃先片として使用することが可能である。 **奥施例 2** 

第9図及び第10図は、本発明によるドライバ 15 一の別な実施例を示すものであつて、トライバー シヤフト 1 の先端面を逆カップ状に形成し、前記 実施例1と同様にしてドライバーシャフト1の先 端部に刃片挾持構2を穿設すると共に、該挾持牌 2より若干幅広の直径を有する副溝 3を設ける。 部を若干外方に突起せしめて、その先端を適当な 20 本実施例におけるドライバーにおいても、前記実 施例1におけると同様に各種の刃先をドライバー シヤフト1の刃片挾持溝2及びその副溝3に挿着 させることにより、前記諸実施例と同様の効果が 得られるものである。

しかして本実施例によるドライバーの特徴とす るところは、ドライバーシャフトの先端下面を逆 カップ状に形成することにより、ねじ頭のスリワ リに、 ドライバー刃先部を嵌合した場合、丸頭ね じに対して、ねじ頭の周辺とドライバーシャフト 30 の先端周縁部が突合つた状態でねじ込み作業を行 **う為、ねじ頭周辺に均等な押圧力を作用させなが** らねじの回動を行うことになり、 シヤフト 軸線と ねじ軸線とが常に一直線上に保たれ、揺動するこ となく、ねじを真直ぐにねじ込むことができる。 たものである。この場合、ねじ頭のスリワリ内に 35 また上面の平らな皿ねじに使用する場合において も、ねじ頭の平面上にドライバーシャフト先端の 周縁部が突合されて上記と何一の効果が得られる 特許請求の範囲

1.ドライバーシャフトの先端部にシャフトの中 を設け、刃片挾持溝の一側壁中央部に先端から底 部に至るまで矩形状の副溝を刻設したドライバー シヤフト、矩形網片とからなり、前配矩形網片の 一側に 前記 刷海に 圧接する舌状弾性係止片を 一体 の刃片挾持溝2で挾持するための突出片16とを 45 的に設け、このように構成した矩形網片を刃片挾

持溝に意脱自在に嵌挿することを特徴とするドラ

ドライバーシャフトの先端部に シャフトの中 心軸を横切つて軸の長手方向に等幅の刃片挾持滯 部に至るまで矩形状の副欝を刻設したドライバー シヤフトと、矩形網片とからなり、前記の矩形網 片の一側に前配副構の一方に圧設する舌状弾性係 止片を一体的に設けるとともに反対側には他方の 副帯に圧接する弾性材料で構成したねじ保持ピン を矩形鋼片の中央下端線まで延伸し、その先端が 矩形鋼片に対して弾力的に離反するように固着し、

このように構成した矩形鋼片挾持溝に着脱自在に **嵌挿することを特徴とするドライバー。** 

3 ドライバーシャフトの先端面を逆カップ状に 形成し、ドライバーシャフトの先端部にシャフト を設け、刃片挟持衛の両側壁中央部に先端から底 5 の中心軸を横切つて軸の長手方向に等副の刃片挟 持滯を設け、刃片挾持滯の一側壁中央部に先端か ら底部に至るまで矩形状の副溝を刻設したドライ パーシャフトと、矩形鋼片とからなり、前記矩形 鋼片の一側に前記副溝に圧接する舌状弾性係止片 10を一体的に設け、このように構成した矩形網片を **刃片挾持壽に着脱自在に嵌挿することを特徴とす** るドライバー。

